

貸借対照表（後期高齢者医療事業会計）

75歳（一定の障がいがある人は65歳）以上の方が加入し、医療給付等を受ける後期高齢者医療制度において、保険料を徴収し運営元である大阪府後期高齢者医療広域連合へ納付する後期高齢者医療事業の会計です。

◎資産の部では、現金預金（歳計現金）や未収金、資産総額の約8割を占めています。

前年度に比べ未収金の減などがあるものの現金預金（歳計現金）や建設仮勘定の増などにより、137百万円増加（291,942百万円⇒302,079百万円）しています。

◎負債の部では、職員の退職手当引当金が、負債総額の約9割を占めています。

前年度に比べ退職手当引当金の増などにより、52百万円増加（29512百万円⇒30565百万円）しています。

◎純資産（資産総額－負債総額）は、84百万円増加（291,429百万円⇒301,514百万円）しています。

平成31年3月31日現在

(単位：百万円)

【資産の部】	30年度	29年度	増減額	【負債の部】	30年度	29年度	増減額
流動資産	1,756	1,689	66	流動負債	41	43	▲2
現金預金	1,468	1,379	88	地方債	—	—	—
未収金	505	544	▲38	短期借入金	—	—	—
貸倒引当金	▲217	▲234	17	賞与引当金	38	40	▲1
基金	—	—	—	未払金	—	—	—
貸倒引当金	—	—	—	還付未済金	—	—	—
短期貸付金	—	—	—	リース債務	2	2	▲0
貸倒引当金	—	—	—	その他流動負債	—	—	—
その他流動資産	—	—	—	固定負債	524	469	55
固定資産	323	253	70	地方債	—	—	—
事業用資産	—	—	—	長期借入金	—	—	—
インフラ資産	—	—	—	退職手当引当金	518	461	57
重要物品	—	—	—	損失補償等引当金	—	—	—
リース資産	7	10	▲2	長期末払金	—	—	—
ソフトウェア	239	242	▲3	リース債務	5	7	▲2
建設仮勘定	76	—	76	その他固定負債	—	—	—
出資金	—	—	—	負債合計	565	512	52
信託受益権	—	—	—	【純資産の部】	30年度	29年度	増減額
基金	—	—	—	累積余剰	1,514	1,429	84
貸倒引当金	—	—	—	評価・換算差額等	—	—	—
長期貸付金	—	—	—	純資産合計	1,514	1,429	84
貸倒引当金	—	—	—	負債及び純資産合計	2,079	1,942	137
その他債権	—	—	—				
貸倒引当金	—	—	—				
資産合計	2,079	1,942	137				

【現金預金】
・内訳
歳計現金1,468百万円
前年度比
(+88百万円)

【未収金】
後期高齢者医療事業における未収金
・主な内訳
後期高齢者医療保険料505百万円(▲38百万円)
貸倒引当金▲217百万円(+17百万円)
前年度比

【ソフトウェア】
コンピュータを機能させるように指令を組み合わせて表現したプログラム等
・内訳
取得原価
国民健康保険等393百万円(+63百万円)
システム関係減価償却累計額▲154百万円(▲67百万円)
前年度比
・増減：システム改修に伴うソフトウェアの増があるものの、減価償却による減により、前年度に比べ3百万円減少しています。

【建設仮勘定】
完成前の固定資産への支出等を仮に計上しておくための勘定科目
・増減：国民健康保険システムの機種更新やシステム改修に伴う増により、前年度に比べ、76百万円増加しています。

【賞与引当金】
令和元年6月支給の期末・勤勉手当の支払見込み額（共済費含む）のうち、貸借対照表日（平成31年3月31日）時点の負担相当額（平成30年度分）

【リース債務（流動）】
リース契約によって借り入れている物件のリース料
・内訳
国民健康保険等
システム用サーバ機器等2百万円(▲0百万円)
前年度比

【退職手当引当金】
貸借対照表日（平成31年3月31日）時点に全ての職員が自己都合退職した場合の退職手当支給見込額

【リース債務（固定）】
リース契約によって借り入れている物件のリース料
・内訳
国民健康保険等
システム用サーバ機器等5百万円(▲2百万円)
前年度比
・増減：リース債務償還による減などにより、前年度に比べ2百万円減少しています。

行政コスト計算書(後期高齢者医療事業会計)

◎経常的な行政サービス提供コストである経常費用には、後期高齢者医療広域連合への納付にかかるコストである「負担金・補助金・交付金等」があり、経常費用のほぼ全体を占めています。
前年度に比べ「負担金・補助金・交付金等」の増などにより、680百万円増加（㊶29,682百万円⇒㊶30,363百万円）しています。
◎経常収益では、「保険料」や「他会計からの繰入金」があり、経常収益のほぼ全体を占めています。
前年度に比べ「保険料」や「他会計からの繰入金」の増などにより、714百万円増加（㊶29,800百万円⇒㊶30,514百万円）しています。
◎その結果、経常収支差額は前年度に比べ33百万円増加（㊶117百万円⇒㊶151百万円）しており、臨時的な損失や利益による特別収支差額を合わせた当年度収支差額は、84百万円となっています。

自 平成30年4月 1日
至 平成31年3月31日
(単位：百万円)

	30年度	29年度	増減額		30年度	29年度	増減額
【経常費用】	30,363	29,682	680	【経常収益】	30,514	29,800	714
給与関係費	441	443	▲ 1	市税	—	—	—
賞与引当金繰入額	36	40	▲ 4	地方譲与税	—	—	—
退職手当引当金繰入額	57	▲ 60	117	交付金	—	—	—
				地方特例交付金	—	—	—
物件費	287	299	▲ 11	地方交付税	—	—	—
維持補修費	—	—	—	保険料	22,416	22,007	408
減価償却費	69	68	1	分担金及び負担金	—	—	—
支払利息及び手数料	—	—	—	使用料及び手数料	0	0	▲ 0
貸倒損失	—	—	—	国・府支出金	20	—	20
貸倒引当金繰入額	86	112	▲ 25	他会計からの繰入金	8,067	7,756	310
損失補償等引当金繰入額	—	—	—	棚卸資産売却収入	—	—	—
棚卸資産売却原価	—	—	—	受取利息及び配当金	—	—	—
扶助費	—	—	—	その他経常収益	10	35	▲ 25
負担金・補助金・交付金等	29,383	28,777	605				
他会計への繰出金	—	—	—				
その他経常費用	—	—	—				
【経常収支差額】					151	117	33
【特別損失】	66	75	▲ 8	【特別利益】	—	—	—
資産除売却損	—	—	—	資産売却益	—	—	—
災害による損失	—	—	—	資産受贈益	—	—	—
貸倒損失	—	—	—				
出資金評価損	—	—	—	事業再編等に伴う移転損益	—	—	—
事業再編等に伴う移転損益	—	—	—	その他特別利益	—	—	—
その他特別損失	66	75	▲ 8				
【特別収支差額】					▲ 66	▲ 75	8
【当年度収支差額】					84	42	42

【負担金・補助金・交付金等】
後期高齢者医療広域連合への納付にかかるコスト
・増減：被保険者の増に伴う後期高齢者医療広域連合納付金の増により、前年度に比べ605百万円増加しています。

【保険料】
被保険者からの保険料による収益
・増減：被保険者数の増に伴う保険料の増により、前年度に比べ408百万円増加しています。

【他会計からの繰入金】
一般会計からの繰入金による収益
・増減：被保険者の増による基盤安定負担金の増に伴う繰入金の増により、前年度に比べ310百万円増加しています。

キャッシュ・フロー計算書(後期高齢者医療事業会計)

◎行政サービス活動収支差額は231百万円のプラスとなっています。

前年度に比べ「負担金・補助金・交付金等支出」の増などがあるものの、「保険料収入」や「他会計からの繰入金収入」の増などにより、144百万円増加(2986百万円⇒30231百万円)しています。

◎投資活動収支差額は140百万円のマイナスとなっています。

前年度に比べ「固定資産取得支出」の増により、134百万円減少(295百万円⇒30▲140百万円)しています。

◎行政サービス活動収支差額のプラスによって、資産取得等の投資活動やリース債務の償還等の財務活動を行っていることがわかります。

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

(単位：百万円)

【行政サービス活動によるキャッシュ・フロー】
投資活動及び財務活動以外の取引によるキャッシュ・フローを記載する区分

【保険料収入】
被保険者からの保険料による収入
・増減：被保険者の増に伴う保険料収入の増により、前年度に比べ447百万円増加しています。

【他会計からの繰入金収入】
一般会計からの繰入金による収入
・増減：被保険者の増による基盤安定負担金の増に伴う繰入金の増により、前年度に比べ310百万円増加しています。

【負担金・補助金・交付金等支出】
後期高齢者医療広域連合への納付に関する支出
・増減：被保険者の増に伴う後期高齢者医療広域連合納付金の増により、前年度に比べ620百万円増加しています。

	30年度	29年度	増減額		30年度	29年度	増減額
【行政サービス活動収入】	30,446	29,693	752	【投資活動収入】	—	—	—
市税収入	—	—	—	資産売却収入	—	—	—
地方譲与税収入	—	—	—	基金繰入金(取崩額)	—	—	—
交付金収入	—	—	—	貸付金回収元金収入	—	—	—
地方特例交付金収入	—	—	—	他会計からの繰入金収入	—	—	—
地方交付税収入	—	—	—	保証金等返還収入	—	—	—
保険料収入	22,348	21,901	447	その他投資活動収入	—	—	—
分担金及び負担金収入	—	—	—	【投資活動支出】	140	5	134
使用料及び手数料収入	0	0	▲0	固定資産取得支出	140	5	134
国・府支出金収入	20	—	20	基金積立金	—	—	—
他会計からの繰入金収入	8,067	7,756	310	出資金支出	—	—	—
棚卸資産売却収入	—	—	—	貸付金支出	—	—	—
受取利息及び配当金収入	—	—	—	他会計への繰出金支出	—	—	—
その他行政収入	10	35	▲25	保証金等支出	—	—	—
【行政サービス活動支出】	30,215	29,607	607	【投資活動収支差額】	▲140	▲5	▲134
給与関係費支出	480	481	▲0	【財務活動収入】	—	—	—
物件費支出	287	299	▲11	地方債収入	—	—	—
維持補修費支出	—	—	—	借入金収入	—	—	—
支払利息及び手数料支出	—	—	—	他会計からの繰入金収入	—	—	—
扶助費支出	—	—	—	その他財務活動収入	—	—	—
負担金・補助金 ・交付金等支出	29,447	28,827	620	【財務活動支出】	2	2	—
他会計への繰出金支出	—	—	—	地方債償還金支出	—	—	—
その他行政支出	—	—	—	借入金償還金支出	—	—	—
【行政サービス活動収支差額】	231	86	144	リース債務償還金支出	2	2	—
【当年度現金預金増減額】	88	77	10	他会計への繰出金支出	—	—	—
				その他財務活動支出	—	—	—
				【財務活動収支差額】	▲2	▲2	—

【投資活動によるキャッシュ・フロー】
固定資産の取得および売却、金融資産の取得及び売却等によるキャッシュ・フローを記載する区分

【固定資産取得支出】
固定資産の取得に関する支出
・内訳
国民健康保険等
システム関係 140百万円(+134百万円)
前年度比
・増減：システム改修に伴う支出の増により、前年度に比べ134百万円増加しています。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】
資金の調達及び返済によるキャッシュ・フローを記載する区分

【リース債務償還金支出】
リース資産に係るリース料(利息相当分を除く)の支払による支出